

授業科目名	アニマル・トレーニング	開講学科	ペットスペシャリスト科		
開講科目名	ドッグトレーニング演習Ⅱ	開講年度	2020	配当年次	2
開講科目英名	Practice of Dog Training II	開講期間	通年	必選区分	必修
		授業形態	講義・演習	時間数(単位数)	120(8)
講師名					
実務経験概要	トレーニング教室20年開催 行政のしつけ方教室を担当 JAHA家庭犬しつけインストラクター認定トレーナー				
授業の概要・目的	犬のトレーニングの基礎から応用と実践。犬の飼養管理について自分で計画が立てられるようにする。4つのDを使った犬のトレーニングの計画を立てる(時間を伸ばす・距離を伸ばす・刺激の中での強化)行動の細分化と連鎖の方法(ドッグダンス・ハンドリングテスト・アジリティなど)犬が言うことを聞かない時の対処方法。コミュニケーション技術。家庭犬のしつけ教室に向けたゲームの計画と発表。				
到達目標	犬の習性行動学と学習理論の融合。実際のトレーニングで応用できるようになる。ゲームの計画と発表を通じてコミュニケーションの技術を身につける。				
授業計画(テーマ・内容)					
1	オリエンテーション(授業の準備・犬の担当決と犬の性格を見極める)	16	オリエンテーション(授業の準備・犬の担当決と犬の性格を見極める)		
2	HELMの計画表を作成する	17	4つのD(理論で作ったトレーニングの計画表に沿って刺激の中でトレーニングする)おすわり・ふせ・ヒールで歩く・おいで・まで		
3	HELMの計画表を作成し、実際にやってみる。変更と考察	18	4つのD(理論で作ったトレーニングの計画表に沿って刺激の中でトレーニングする)おすわり・ふせ・ヒールで歩く・おいで・まで		
4	校外散歩(HELMの一環で犬の散歩の計画をもとに実際に散歩に行く)	19	4つのD(理論で作ったトレーニングの計画表に沿って刺激の中でトレーニングする)おすわり・ふせ・ヒールで歩く・おいで・まで		
5	4つのD(理論で作ったトレーニングの計画表に沿って時間を伸ばす)おすわり・ふせ・ヒールで歩く・おいで・まで	20	報酬の与え方の応用とマネージメントの仕方		
6	4つのD(理論で作ったトレーニングの計画表に沿って距離を伸ばす)おすわり・ふせ・ヒールで歩く・おいで・まで	21	行動形成のバリエーション(ルアー・キャッチング・物理的)		
7	4つのD(理論で作ったトレーニングの計画表に沿って報酬の配分を使い分ける)おすわり・ふせ・ヒールで歩く・おいで・まで	22	JAHAマナーチャレンジの受験内容の練習		
8	お手入れの応用(歯磨き・ストレスを軽減させる方法)	23	JAHAマナーチャレンジの受験内容の練習		
9	号令の使い方と理解のさせ方 おすわり・ふせ・ヒールで歩く・おいで・まで	24	ゲーム発表のリハーサル		
10	クリッカートレーニング(マットトレーニング・ターゲットトレーニング)	25	ゲーム発表のリハーサル		
11	行動の連鎖 バックチェイニング(アジリティのタッチ障害・マットトレーニングの応用)	26	ゲーム発表のリハーサル		
12	行動の連鎖 バックチェイニング(アジリティのタッチ障害・マットトレーニングの応用)	27	行動の連鎖(アジリティ・ドッグダンス)		
13	ハンドリングテストの練習	28	ハンドリングテストの練習		
14	ハンドリングテストの練習	29	ハンドリングテストの練習		
15	ハンドリングテスト	30	ハンドリングテスト		
授業時間外学修(事前・事後学習等)	特になし				
教科書・テキスト	しつけ方教室				
参考書	しつけ方教室				
評価方法・基準	出席率10% 授業ノート10% 授業の取り組み方10% ハンドリングテスト70%				
成績評価	評価点数80点以上をA、79点～70点をB、69点～60点をCとし、59点以下をD評価とする。ただしA、BおよびCを合格とし、Dを不合格とする。				

授業科目名	アニマル・トレーニング	開講学科	ペットスペシャリスト科		
開講科目名	トレーニング理論 I	開講年度	2020	配当年次	2
開講科目英名	Theory of Training I	開講期間	通年	必選区分	必修
		授業形態	講義	時間数(単位数)	60(4)
講師名					
実務経験概要	トレーニング教室20年開催 行政のしつけ方教室を担当 JAHA家庭犬しつけインストラクター認定トレーナー				
授業の概要・目的	お預トレーニングを通じて、顧客の管理の方法や、お預かりした犬の管理ノートの作成をすることで責任感を持てるようになる。また、コミュニケーション技術の向上、仕事の分担などができるようになる。引き続き HELM 4つのDの計画を一から作り上げる。YESTRAINを学び犬の問題行動への対応の仕方を学ぶ。				
到達目標	顧客管理ができる。お預かり犬の管理ノートと計画表を作成できるようになる。コミュニケーション技術の向上として実技発表会のシナリオ作成。犬のトレーニングの応用と実践。問題行動への対応の仕方を学ぶ。				
授業計画(テーマ・内容)					
1	お預トレーニングの目的と計画の進め方・接客の心得・トレーニングファイル作成	16	コミュニケーション技術(伝え方)		
2	接客の実際・トレーニングファイルの作成	17	コミュニケーション技術(発表内容を決める)		
3	準備するものを決定する(役割分担・準備物一覧表作成など)	18	コミュニケーション技術(準備物の決定)		
4	トレーニングの計画を立てる(犬種の特徴と予測)	19	コミュニケーション技術(役割分担と担当決め)		
5	トレーニングの計画を立てる(HELMの表の作成)	20	YESTRAIN 後半		
6	トレーニングの計画を立てる(HELMの検討)	21	罰の使い方		
7	トレーニングの計画を立てる(4つのDの計画の作成・復習)	22	NSRの使い方		
8	トレーニングの計画を立てる(4つのDの計画の作成)	23	発表会・おしらせ・プログラムの作成		
9	YESTRAIN 前半	24	発表会のリハーサル		
10	トレーニングの計画を立てる(YESTRAIN計画の作成)	25	発表会の反省と検討会		
11	トレーニングの計画を立てる(犬が従わない時とその実際)	26	マナーチャレンジに向けてのトレーニングの計画		
12	トレーニングの計画を立てる(集中の為のトリック)	27	マナーチャレンジに向けてのトレーニングの計画		
13	前期まとめ	28	後期まとめ		
14	筆記試験	29	筆記試験		
15	答え合わせと質疑応答	30	答え合わせと質疑応答		
授業時間外学修 (事前・事後学習等)					
教科書・テキスト	家庭犬のしつけ教室				
参考書	家庭犬のしつけ教室				
評価方法・基準	出席率10% 授業ノート10% 授業の取り組み方10% ハンドリングテスト70%				
成績評価	評価点数80点以上をA、79点～70点をB、69点～60点をCとし、59点以下をD評価とする。ただしA、BおよびCを合格とし、Dを不合格とする。				

授業科目名	アニマルビジネス	開講学科	ペットスペシャリスト科		
開講科目名	イベント企画	開講年度	2020	配当年次	2
開講科目英名	Dog Event Planning	開講期間	通年	必選区分	必修
講師名		授業形態	講義・演習	時間数(単位数)	60(4)
実務経験概要					
授業の概要・目的	<p>一般の飼い主対象のイベントを学生主体で企画、運営する。 イベント企画を通じて、情報収集能力、現実の犬と飼い主の姿、犬及び飼い主の扱い、仕事の進め方、インストラクターとしての所作、飼い主のやる気・愛犬への愛情を引き出す方法を身につける。</p>				
到達目標	<p>小規模のイベント(商品説明会、ドッグスポーツのミニ体験会など)を自分で企画運営できるようになること。</p>				
授業計画(テーマ・内容)					
1	授業の主旨の説明。到達目標の共有。 3分セミナーの模擬演習①「基本的な説明の構成」 お題発表、セミナーの構成の基本(テーマの設定、ネタ集め)	16	ドッグスポーツ・エクストリーム体験会を開催しよう①「初心者向けの練習方法」 ドッグスポーツ・エクストリームの初心者向けの練習方法を学ぶ。		
2	3分セミナーの模擬演習②「すべてはテーマのために」 サブテーマの設定(ネタを3〜4グループに分ける)。 説得力を持たせる演出の方法。	17	ドッグスポーツ・エクストリーム体験会を開催しよう②「インストラクター」 飼い主のモチベーションを上げる、愛犬への愛情を増す、正しく伝える方法。 自分がやることと、他人を指導することの違いを学ぶ。		
3	3分セミナーの模擬演習③「台本の作成と腹式呼吸」 セミナーの台本の作成。腹式呼吸の練習方法。	18	ドッグスポーツ・エクストリーム体験会を開催しよう③「必要な準備」 予約の受け方、データ管理、説明書、地図、備品表、スタッフ配置表の作成		
4	3分セミナーの模擬演習④「3分セミナー演習」 3分セミナーを実際にクラス内で行い改善点を探る。	19	ドッグスポーツ・エクストリーム体験会を開催しよう④「制作」 POP、当日必要な資料を作り始める。		
5	企画書①「企画書の基本」 企画書は何のために？ 5W2Hを満たす企画書を作る。	20	ドッグスポーツ・エクストリーム体験会を開催しよう⑤「制作」 POP、当日必要な資料を完成させる。		
6	企画書②「見やすい企画書」 企画書の体裁の整え方。付属書類について。	21	ドッグスポーツ・エクストリーム体験会を開催しよう⑥「分科会・最終確認」 イベントを開催するにあたって準備ができていないかを各パートでチェック。		
7	イベントスタッフを体験しよう！①わんわんおさんぽ塾	22	ドッグスポーツ・エクストリーム体験会を開催しよう⑦「本番」		
8	立て看板①「目を引き、読ませて、背中を押す」 立て看板の目的と効果的な使い方。	23	ドッグスポーツ・エクストリーム体験会を開催しよう⑧「本番」		
9	立て看板②「実際に書いてみる」 立て看板の内容を書いてみよう	24	実演～WeAreECOの出店イベントを制作しよう① 内容の発案～ざっくりとした内容の決定		
10	自分たちでわんわんおさんぽ塾を企画運営しよう！① 企画書を作る。ブログの書き方(できること発信ではなく、望まれていること発信)。	25	実演～WeAreECOの出店イベントを制作しよう② 内容を詰め、確定させる。企画書のフォーマットを埋める。		
11	ポスター・チラシ①「ポスターやチラシは企画書×立て看板」 企画書の内容を、立て看板の流れで作ればポスター・チラシになる。 わんわんおさんぽ塾のブログを書く。	26	実演～WeAreECOの出店イベントを制作しよう③ チラシ、POPなどを作成。		
12	ポスター・チラシ②「何パターンも下描きを」 ポスターやチラシをざっくりで良いので5枚作ってみよう！ わんわんおさんぽ塾のブログを書く。	27	実演～WeAreECOの出店イベントを制作しよう④ 制作物、備品チェック、スタッフの行動管理表など準備の完了。		
13	自分たちでわんわんおさんぽ塾を企画運営しよう！② 備品管理表の作り方。わんわんおさんぽ塾のブログを書く。	28	実演～愛犬あるあるカルタの大会を作り出そう①		
14	自分たちでわんわんおさんぽ塾を企画運営しよう！③ スタッフ行動表の作り方。	29	実演～愛犬あるあるカルタの大会を作り出そう②		
15	自分たちでわんわんおさんぽ塾を企画運営しよう！④ 実際に「わんわんおさんぽ塾」を運営する。	30	実演～愛犬あるあるカルタの大会を作り出そう③		
授業時間外学修 (事前・事後学習等)	原則としてなし				
教科書・テキスト	なし				
参考書	なし				
評価方法・基準	<p>基礎点60点。イベントの完成度を40点満点で評価(欠席者は0点)。合計100点満点。そこから下記行為に定められた点数を反映。欠席＝5点減点、遅刻早退＝2点減点。提出物の提出日を過ぎた＝5点減点、提出物の不提出＝10点減点。他、授業に関係のない行為が続く場合、イベント中に意味なく部署を離れた場合はその頻度により1～20点の減点(頻度と内容による)。積極的な行動が見られたら1～20点の加点(頻度と内容による)。結果失敗でも構わない。</p>				
成績評価	<p>評価点数80点以上をA、79点～70点をB、69点～60点をCとし、59点以下をD評価とする。ただしA、BおよびCを合格とし、Dを不合格とする。</p>				

授業科目名	アニマルヘルスケア	開講学科	ペットスペシャリスト科		
開講科目名	ナチュラルケア	開講年度	2020	配当年次	2
開講科目英名	Natural Care	開講期間	通年	必選区分	必修
		授業形態	講義・演習	時間数(単位数)	60(4)
講師名					
実務経験概要	ナチュラルケアの啓蒙普及目的とする「CACIOコンパニオンアニマルケア国際機構」協会を母体とする複数の協会にて、認定講師として飼主様やペット関係従事者様に向けた講義やイベントを10年以上実施。				
授業の概要・目的	代替療法(ナチュラルケア・ホリスティックケア)についての理解を深め、自分に何が出来る事、また飼主さまに提案出来る事を考え、オーナーへのサービスの一環として、説明実践出来る様な知識と技術を修得する。				
到達目標	代替療法であるペットマッサージや犬の食事・ペットアロマに対して、オーナー様への適切なアドバイスやサービスを出来る様になる。また自身のスキルの一つとして、出来る範囲でケースに応じたナチュラルケアを活用出来る様になる。				
授業計画(テーマ・内容)					
1	代替療法(ナチュラルケア・ホリスティックケア)とは	16	ペットマッサージ・総論・ナチュラルケアが注目される理由		
2	犬の食事・犬にとっての理想の食事は何か	17	ペットマッサージ・西洋医学と東洋医学の違いと融合		
3	犬の食事・東洋医学的な体質判断と食材について	18	ペットマッサージ・東洋医学の考え方とツボ		
4	犬の食事・ペットフード安全法・ペットフードの表示	19	ペットマッサージ・マッサージに必要な骨格、筋肉に関する知識		
5	犬の食事・ペットフードの表示・ペットフードの選び方	20	ペットマッサージ・効果と注意点		
6	犬の食事・犬の栄養バランスと手作り食	21	ペットマッサージ・基本手技		
7	犬の食事・犬の手作り食・よくある疑問や留意点	22	ペットマッサージ・リンパマッサージについて		
8	犬の食事・手作り食の食材の特徴と選び方	23	ペットマッサージ・リンパマッサージの実践		
9	犬の食事・カロリー計算・レシピを考える	24	ペットマッサージ・症状別ツボの活用法		
10	ペットアロマ・英式と仏式の違い	25	ペットマッサージ・年代別応用		
11	ペットアロマ・体質判断	26	シニアケアについて		
12	ペットアロマ・精油の選び方、取扱上の注意点	27	温熱療法について		
13	ペットアロマ・基材の種類と使い分け	28	犬の反射区		
14	前期試験	29	後期試験		
15	学期の統括・まとめ	30	学期の統括・まとめ		
授業時間外学修(事前・事後学習等)	授業時書き留めるノートをもとに整理しまとめ、適宜与える課題などに備える				
教科書・テキスト	なし				
参考書	授業内で適宜紹介する				
評価方法・基準	筆記試験70%・その他(課題・出席率・授業内評価)30% ・ 最高評価点数100				
成績評価	評価点数80点以上をA、79点～70点をB、69点～60点をCとし、59点以下をD評価とする。ただしA、BおよびCを合格とし、Dを不合格とする。				

授業科目名	イベント研究	開講学科	ペットスペシャリスト科		
開講科目名	オープンキャンパス	開講年度	2020	配当年次	2
開講科目英名	Open Campus	開講期間	前期	必選区分	必修
		授業形態	演習	時間数(単位数)	30(2)
講師名					
実務経験概要					
授業の概要・目的	<p>企画実行や予算管理をし、役割分担を決め、人と協力して作業することの大切さを学ぶ また、準備段階からイベント終了までの期間を通し、協調性・コミュニケーション力・接遇を学ぶ</p>				
到達目標	<p>イベントを成功させ、予算管理も含め満足度や達成感を味わう</p>				
授業計画(テーマ・内容)					
1	オープンキャンパスとは? オープンキャンパスの目的意義を学ぶ	16			
2	企画会議① グループワークでそれぞれ企画を立案し、企画書を作成する	17			
3	企画会議② 各グループでプレゼンし、テーマを決める	18			
4	運営会議① 役割分担・スケジュールを決め、運営委員中心に実行する	19			
5	運営会議② 事前の準備や予算管理方法を学ぶ	20			
6	実施準備 制作物の作成①	21			
7	実施準備 制作物の作成②	22			
8	実施準備 接遇のトレーニング	23			
9	実施準備 装飾デザインを学ぶ	24			
10	実施前日準備 救急代作・避難経路の確認など安全対策を学ぶ	25			
11	イベント日① 1日目 実施と反省	26			
12	イベント日② 2日目 実施と反省	27			
13	後片付け アンケート集計	28			
14	振り返り アンケート結果によりイベントの振り返りと反省会	29			
15	総括 次年度の送り書作成	30			
授業時間外学修 (事前・事後学習等)					
教科書・テキスト	なし				
参考書	なし				
評価方法・基準	レポート課題				
成績評価	評価点数80点以上をA、79点～70点をB、69点～60点をCとし、59点以下をD評価とする。ただしA、BおよびCを合格とし、Dを不合格とする。				

授業科目名	イベント研究	開講学科	ペットスペシャリスト科		
開講科目名	スポーツフェスタ	開講年度	2020	配当年次	2
開講科目英名	Sports Festa	開講期間	後期	必選区分	必修
		授業形態	演習	時間数(単位数)	30(2)
講師名					
実務経験概要					
授業の概要・目的	<p>競技種目の選定、ルール作り、各種備品等を学生が主体となり実行委員会を設けて企画実行することで人との関わりを学び、協調性・団結力を養う 当日までのカラダ作り期間を実施することで体力強化ができる</p>				
到達目標	<p>個人ではなくクラスというチームでの達成感を味わう チームで一つの目標に対して努力することで人間関係の関わり方を学ぶ</p>				
授業計画(テーマ・内容)					
1	スポーツフェスタとは? 意義や目的を学ぶ	16			
2	企画会議① 過去どんな競技をしてどんな準備が必要でどんな効果があったかを学ぶ	17			
3	企画会議② 各グループにわかれ、スポーツフェスタの企画書を作成し、プレゼンをする	18			
4	企画会議③ 競技種目や内容を決定し役割分担、スケジュールを作成する	19			
5	企画会議④ 競技のルール確認、安全な運営をするために具体的に作業していく	20			
6	実施準備① クラスで着る衣装・応援旗などの作成	21			
7	実施準備② 競技で使用する掲示板・道具などを作成する	22			
8	実施準備③ 当日のパンフレット作成	23			
9	安全運営対策① 怪我・事故防止のため、校内でのストレッチ・体力増強運動を実行	24			
10	安全運営対策② AED、救急救命法をインストラクターから学ぶ	25			
11	安全運営対策③ 事前に救急病院など調べて緊急対応にそなえる	26			
12	安全運営対策④ 人と動物との体のしくみ等を比較して学び、動物学校の特色を出して学ぶ	27			
13	前日準備 運営がスムーズに進むよう準備をする	28			
14	実施日 スポーツフェスタの運営をする	29			
15	総括 反省会をして次回につながるように記録を残す	30			
授業時間外学修 (事前・事後学習等)					
教科書・テキスト	なし				
参考書	なし				
評価方法・基準	レポート課題				
成績評価	評価点数80点以上をA、79点～70点をB、69点～60点をCとし、59点以下をD評価とする。ただしA、BおよびCを合格とし、Dを不合格とする。				

授業科目名	トリミング	開講学科	ペットスペシャリスト科		
開講科目名	トリミング演習 I B	開講年度	2020	配当年次	2
開講科目英名	Practice of Grooming I B	開講期間	通年	必選区分	必修
		授業形態	講義・演習	時間数(単位数)	180(12)
講師名					
実務経験概要	トリミングサロンにてプロトリマーとして勤務				
授業の概要・目的	<p>カット犬の数を少しずつ増やしていき、1～2名で一頭を3コマ以内に仕上げられるようにする。ベーシック作業の確実性と大まかな形やバランスをマスターする。また、トリミングに興味を持ち、楽しさを知ってもらい、自分から積極的にトリミング実習に取り組む姿勢を作る。</p>				
到達目標	<p>2年次の間に一人で一頭のトリミングが出来るようになる事。トリミング演習を楽しんでもらえるようになる事。</p>				
授業計画(テーマ・内容)					
1	グルーミング犬種で学生のスキルチェック・グルーミングドールブラッシング	16	全体のバランスとスピードアップ・犬のコントロール		
2	マルチーズ・シーズー・ヨークー モデルグルーミング、グルーミングドールブラッシング	17	ミニチュアシュナウザーモデルグルーミング・グルーミングドールカット		
3	テディーベアモデルグルーミング・グルーミングドールカット	18	全体のバランスとスピードアップ・犬のコントロール		
4	2人で一頭のカット。全体の形とシザーリングの練習・ベーシックのスピードアップ	19	全体のバランスとスピードアップ・犬のコントロール		
5	2人で一頭のカット。全体の形とシザーリングの練習・ベーシックのスピードアップ	20	全体のバランスとスピードアップ・犬のコントロール		
6	ポメラニアン・クマさんカットグループモデル 2～3人で一頭をトリミング	21	各部の細かい形と繋がり。バランスとスピードアップ		
7	2人で一頭のカット。全体の形とシザーリングの練習・ベーシックのスピードアップ	22	各部の細かい形と繋がり。バランスとスピードアップ		
8	2人で一頭のカット。全体の形とシザーリングの練習・ベーシックのスピードアップ	23	各部の細かい形と繋がり。バランスとスピードアップ		
9	プードルケネルクリップのモデルグルーミング・グルーミングドールカット	24	各部の細かい形と繋がり。バランスとスピードアップ		
10	1～2人で一頭のカット。各部の形とそれぞれとのつながりとバランス・コントロール	25	各部の細かい形と繋がり。バランスとスピードアップ		
11	1～2人で一頭のカット。各部の形とそれぞれとのつながりとバランス・コントロール	26	1人1頭で3コマ以内に仕上げる		
12	1～2人で一頭のカット。各部の形とそれぞれとのつながりとバランス・コントロール	27	グルーミングドールカット仕上げ		
13	1～2人で一頭のカット。各部の形とそれぞれとのつながりとバランス・コントロール	28	1人1頭で3コマ以内に仕上げる		
14	総括・授業内評価・出欠・提出物・授業態度	29	総括・授業内評価・出欠・提出物・授業態度		
15	全体のバランスとスピードアップ・犬のコントロール	30	1人1頭で3コマ以内に仕上げる		
授業時間外学修(事前・事後学習等)					
教科書・テキスト					
参考書					
評価方法・基準	授業内評価・ベーシックの確実性・カットバランス・スピード・犬のコントロール・出欠・提出物・授業態度				
成績評価	評価点数80点以上をA、79点～70点をB、69点～60点をCとし、59点以下をD評価とする。ただしA、BおよびCを合格とし、Dを不合格とする。				

授業科目名	トリミング	開講学科	ペットスペシャリスト科		
開講科目名	トリミング演習 I A	開講年度	2020	配当年次	2
開講科目英名	Practice of Grooming I A	開講期間	通年	必選区分	必修
		授業形態	講義・演習	時間数(単位数)	180(12)
講師名					
実務経験概要	トリミングサロンにてプロトリマーとして勤務				
授業の概要・目的	<p>カット犬を少しずつ増やしていき、1～2名で一頭を3コマ以内に仕上げられるようにする。ベーシック作業の確実性と大まかな形やバランスをマスターする。また、トリミングに興味を持ち、楽しさを知ってもらい、自分から積極的にトリミング実習に取り組む姿勢を作る。</p>				
到達目標	<p>2年次の間に一人で一頭のトリミングが出来るようになる事。トリミング演習を楽しんでもらえるようになる事。</p>				
授業計画(テーマ・内容)					
1	グルーミング犬種で学生のスキルチェック・グルーミングドールブラッシング	16	全体のバランスとスピードアップ・犬のコントロール		
2	サマーカットのグループモデル 3～4人で1頭をトリミング	17	全体のバランスとスピードアップ・犬のコントロール		
3	プードルのテディーベアのグループモデル 3～4人で1頭をトリミング	18	ミニチュアシュナウザーのグループモデル 3～4人で1頭をトリミング		
4	2人で1頭のカット。全体の形とシザーリングの練習・ベーシックのスピードアップ	19	全体のバランスとスピードアップ・犬のコントロール		
5	2人で1頭のカット。全体の形とシザーリングの練習・ベーシックのスピードアップ	20	全体のバランスとスピードアップ・犬のコントロール		
6	2人で1頭のカット。全体の形とシザーリングの練習・ベーシックのスピードアップ	21	模擬検定 3～5限		
7	2人で1頭のカット。全体の形とシザーリングの練習・ベーシックのスピードアップ	22	B級検定 2～5限		
8	2人で1頭のカット。全体の形とシザーリングの練習・ベーシックのスピードアップ	23	各部の細かい形と繋がり。バランスとスピードアップ		
9	プードルケネルクリップのグループモデル 3～4人で1頭をトリミング	24	各部の細かい形と繋がり。バランスとスピードアップ		
10	1～2人で1頭カット。各部の形とそれぞれとのつながりとバランス・コントロール	25	各部の細かい形と繋がり。バランスとスピードアップ		
11	1～2人で1頭カット。各部の形とそれぞれとのつながりとバランス・コントロール	26	各部の細かい形と繋がり。バランスとスピードアップ		
12	1～2人で1頭カット。各部の形とそれぞれとのつながりとバランス・コントロール	27	1人1頭で3コマ以内に仕上げる		
13	1～2人で1頭カット。各部の形とそれぞれとのつながりとバランス・コントロール	28	1人1頭で3コマ以内に仕上げる		
14	総括・授業内評価・出欠・提出物・授業態度	29	総括・授業内評価・出欠・提出物・授業態度		
15	全体のバランスとスピードアップ・犬のコントロール	30	1人1頭で3コマ以内に仕上げる		
授業時間外学修(事前・事後学習等)					
教科書・テキスト					
参考書					
評価方法・基準	授業内評価・ベーシックの確実性・カットバランス・スピード・犬のコントロール・出欠・提出物・授業態度				
成績評価	評価点数80点以上をA、79点～70点をB、69点～60点をCとし、59点以下をD評価とする。ただしA、BおよびCを合格とし、Dを不合格とする。				

授業科目名	トリミング	開講学科	ペットスペシャリスト科		
開講科目名	トリミング理論 I	開講年度	2020	配当年次	2
開講科目英名	Theory of Grooming I	開講期間	通年	必選区分	必修
		授業形態	講義・演習	時間数(単位数)	60(4)
講師名					
実務経験概要	トリミングサロンにてプロトリマーとして勤務				
授業の概要・目的	<p>一般的な犬種のスタンダードやカット法を理論的に写真やイラストも使って説明します。また実際の犬を使ってのモデルグルーミングなどを通じて、理論と実践を結び付け、トリミング演習に繋がられるように目でも覚えてもらうようにします。犬種それぞれのスタンダードや個々の体形、特徴、オーナー様の注文によって変わるトリミング法の特徴や目的を知り、理想の仕上がりを、先ずは理論の上で理解してもらいます。</p>				
到達目標	<p>新しい犬種をトリミングする時に、テキストを見ながらでも仕上げられるように、また、分からないときに参考になるように学び、最終的にはテキストを見なくても正確にトリミングができるようになる事。</p>				
授業計画(テーマ・内容)					
1	マルチーズ・シーズー・ヨークシャーテリアのスタンダードとサマーカット	16	ミニチュアシュナウザーのスタンダードとトリミング理論		
2	マルチーズ・シーズー・ヨークシャーテリアのサマーカット	17	ミニチュアシュナウザーのモデルグルーミング		
3	テディーベアカットの理論	18	アメリカンコッカー・イングリッシュコッカーのスタンダードとトリミング理論		
4	道具の取り扱い・道具の使い方の見直しと、道具の手入れ方法	19	プードルバラエティー・プードルの様々なカットのトリミング理論①		
5	ポメラニアンのカマさんカット、ライオンカット	20	プードルバラエティー・プードルの様々なカットのトリミング理論②		
6	ポメラニアンのカマさんカットのモデルグルーミング	21	プードルバラエティー・プードルの様々なカットのトリミング理論③		
7	プードルケネルクリップの理論	22	B級検定		
8	プードルマンハッタンクリップの理論	23	ショーの見かた・ドッグショーを見る時の注意点と、ドッグショーの仕組み		
9	プードルケネルクリップのモデルグルーミング	24	クリスマスカード作り・学校でお世話になっているワンちゃんにクリスマスカードを送ります		
10	プードルボレロマンハッタンクリップの理論	25	クリスマスカード作り・学校でお世話になっているワンちゃんにクリスマスカードを送ります		
11	美容の目的、ペイシック、ペイジング、ドライングの正しい作業と結果と目的	26	ワイヤーフォックステリアのスタンダードとトリミング理論		
12	グルーミングテキスト・教本を使っての勉強	27	グルーミングドールのブラッシング		
13	グルーミングテキスト・教本を使っての勉強	28	スコティッシュテリア・ウエストハイランドテリアのスタンダードとトリミング理論		
14	総括	29	総括		
15	振り返り	30	振り返り		
授業時間外学修 (事前・事後学習等)					
教科書・テキスト	グルーミングテキスト				
参考書	JKC最新犬種標準書				
評価方法・基準	筆記試験・出欠・提出物・授業態度で評価します				
成績評価	評価点数80点以上をA、79点～70点をB、69点～60点をCとし、59点以下をD評価とする。ただしA、BおよびCを合格とし、Dを不合格とする。				

授業科目名	プレゼンテーション	開講学科	ペットスペシャリスト科		
開講科目名	エコ教養Ⅱ	開講年度	2020	配当年次	2
開講科目英名	Human studyⅡ	開講期間	通年	必選区分	必修
		授業形態	講義・演習	時間数(単位数)	60(4)
講師名					
実務経験概要	該当なし				
授業の概要・目的	<p>本授業では、時間割の構成、成績、単位認定などについて理解するとともに、目指す業界に就職するために社会人基礎力を養うことを目的とする。また、就職セミナー、業界の識者による講演、業界の視察、各種イベントの計画・準備等を通じて、ペット業界へ就職を目指すものとして必要な教養やビジネススキルを身につける。さらに、さらに1年間の学修の成果をまとめる。</p>				
到達目標	<p>学校の諸ルールについて理解する。業界のジャンルや動向について説明できるようになる。就職活動における基本的な心構え、最低限のビジネスマナーを習得する。卒業進級制作展における進級発表物を製作し、1年間かけて学んできたことの要点を説明できるようになる。</p>				
授業計画(テーマ・内容)					
1	大阪ECOで学ぶにあたって:成績評価、単位認定、公認欠席、休講、年間スケジュールについて学生便覧などを用いて説明する。	16	合同企業説明会について		
2	時間割の解説:開講科目の位置づけ、各科目の開講意義などについて解説する。Wメジャーカリキュラムの説明。	17	履歴書の作成		
3	猫種について学ぶ①	18	面接の受け方		
4	猫種について学ぶ②	19	ビジネスマナー(敬語・挨拶・名刺交換など)		
5	学園祭の企画・運営:学園祭での実施内容・役割分担などについて打ち合わせをする。	20	スポーツフェスタの企画・運営:スポーツフェスタにおける役割分担・競技種目などについて打ち合わせを行う。		
6	業界の識者による講演	21	ビジネスマナー(身だしなみ・訪問のマナーなど)		
7	業界の識者による講演	22	ビジネスマナー(メール・手紙など)		
8	業界の識者による講演	23	卒業進級制作展の準備:役割分担の調節・発表内容の打ち合わせ		
9	業種・職種等について	24	卒業進級制作展の準備:発表物の製作		
10	猫種について学ぶ③	25	卒業進級制作展の準備:発表物の製作		
11	猫種について学ぶ④	26	卒業進級制作展の準備:発表物の製作		
12	猫種について学ぶ⑤	27	卒業進級制作展の準備:発表物の製作		
13	猫種について学ぶ⑥	28	卒業進級制作展の運営		
14	前期授業の振り返り	29	後期授業の振り返り		
15	前期の総括	30	後期の総括		
授業時間外学修(事前・事後学習等)	授業中に適宜課題を与える。授業中に書き留めたメモをもとにノートを作成する。				
教科書・テキスト	授業中に適宜紹介する。				
参考書	該当なし。				
評価方法・基準	提出物50%、出席率50%				
成績評価	評価点数80点以上をA、79点～70点をB、69点～60点をCとし、59点以下をD評価とする。ただしA、BおよびCを合格とし、Dを不合格とする。				

授業科目名	業界研修	開講学科	ペットスペシャリスト科		
開講科目名	キャリア・セミナー I	開講年度	2020	配当年次	2
開講科目英名	Seminar for Job Hunting I	開講期間	後期	必選区分	必修
		授業形態	講義・演習	時間数(単位数)	30(2)
講師名					
実務経験概要	該当せず				
授業の概要・目的	<p>教育を受ける「受け身」の体制から、自立し、「仕事をする」能動的な立場への大転換期を受講者全員が理解し、自ら(能動的に)行動できるようにする。そのために、まず自分の理解(自己分析)から始まり、社会(とのつながり)の理解、そして目指す業界や企業の理解を深める。クラス内でのワークショップなども行い、クラスをグループ(人の集まり)からチームのような形を目指す。</p>				
到達目標	<p>最終学年で具体的に行う「就職活動」へ向け、クラス全員が「就活を楽しみ」と考えられるようにする。</p>				
授業計画(テーマ・内容)					
1	導入:本科目の目的と、授業計画の解説。通過点であることの確認。	16			
2	就職するとは? 社会について:各人にとって「働く(お金を稼ぐ)」意義の目的の確認・共有。学生から社会人へ、学校という組織と社会のしくみについて。	17			
3	専門学校生とは:「今までの学校」～「専門学校」の選択を振り返る。	18			
4	自己分析について:過去の棚卸と自己PRを見つける。得意な科目や、習得に努力している知識・技術の明確化を行い、自らの強みを明確化する。	19			
5	動物(ペット)業界の研究:ペットビジネスの市場規模、歴史、業種、職種の理解。	20			
6	動物(ペット)業界のこれから:過去10年を振り返り、5年先を考える。ペット飼育頭数の減少や「人口減」についての理解。求められる人材・人物像を明確化する。	21			
7	企業研究:企業研究の方法とポイント、選び方。例えば動物病院の場合、規模で分類する方法や診療内容での分類方法などについて。	22			
8	先輩から学ぶ:動物病院勤務の先輩を迎え、就活のポイントや経験(失敗・成功)談から学ぶ。	23			
9	就活の流れ:専門学校生(本校)の就活の流れとスケジュールについて。SNSに潜む危険性について。	24			
10	履歴書(エントリーシート)について:必要性の理解と自己分析に基づく学校指定履歴書への反映。	25			
11	ビジネスマナーについて:敬語やビジネスマナーの実際。	26			
12	就活における筆記試験:SPI・一般常識・計算問題・四字熟語・ペットの食材についてなど。	27			
13	コミュニケーションの基本:ペアで学ぶことと、グループでの共有、プレゼンテーションの必要性。	28			
14	グループからチームへ:人の集まりから、同じ理念を共有し目標をそれぞれの立場で設定。ベクトルを合わせる必要性の理解。	29			
15	まとめ	30			
授業時間外学修(事前・事後学習等)	授業中に適宜課題を与える。またSUCCESS FILEにプリントやレポートをファイルし適宜見返すこと。				
教科書・テキスト	SUCCESS NOTE(大阪ECOオリジナル)、プリントなど				
参考書	とくになし				
評価方法・基準	選択、記述を合わせた筆記試験を行い、50点満点とする。また授業への出席率を50点満点(=100%)とし、合計を評価点数とする。				
成績評価	評価点数80点以上をA、79点～70点をB、69点～60点をCとし、59点以下をD評価とする。ただしA、BおよびCを合格とし、Dを不合格とする。				

授業科目名	動物飼養管理	開講学科	ペットスペシャリスト科		
開講科目名	繁殖と遺伝	開講年度	2020	配当年次	2
開講科目英名	Animal Breeding	開講期間	前期	必選区分	必修
講師名		授業形態	講義・演習	時間数(単位数)	30(2)
実務経験概要	獣医師(行動分野診療。問題行動、飼育指導、家庭犬トレーニング等)				
授業の概要・目的	繁殖に関わる形態機能学を学び、妊娠・分娩と新生児の管理、遺伝学の基礎知識を習得する。				
到達目標	繁殖に関わるしくみを理解し、正しい繁殖と新生児の管理の知識と技術を伝えることができるようになる。				
授業計画(テーマ・内容)					
1	繁殖とは何か	16			
2	生殖器の形態機能	17			
3	繁殖季節と性成熟について	18			
4	犬の繁殖生理	19			
5	犬の性周期	20			
6	犬の性周期とホルモンの関係	21			
7	犬の交配適期	22			
8	猫の繁殖生理	23			
9	犬猫の不妊手術の利点と欠点	24			
10	犬と猫の交尾様式と妊娠診断	25			
11	分娩と介助	26			
12	新生仔の健康チェックポイント 仔犬・仔猫の成長とケア	27			
13	遺伝性疾患について①	28			
14	遺伝性疾患について②	29			
15	前期学習内容の総括	30			
授業時間外学修(事前・事後学習等)	授業にて習う分野の予習復習を行う。授業中に適宜指導する。				
教科書・テキスト	なし				
参考書	動物看護コアテキスト/ファームプレス				
評価方法・基準	筆記試験および授業態度等から総合的に評価する				
成績評価	評価点数80点以上をA、79点～70点をB、69点～60点をCとし、59点以下をD評価とする。ただしA、BおよびCを合格とし、Dを不合格とする。				

授業科目名	進級研究	開講学科	ペットスペシャリスト科		
開講科目名	進級研究	開講年度	2020	配当年次	2
開講科目英名	Promotion Study	開講期間	後期	必選区分	必修
		授業形態	講義・演習	時間数(単位数)	60(4)
講師名					
実務経験概要	該当なし				
授業の概要・目的	<p>1年間で身に付けた技術や知識の集大成として進級研究に取り組み発表する 授業を通して身につけた技術・知識を駆使し課題に取り組み、1年間の学びを振り返る</p>				
到達目標	<p>進級制作展にて自身の取り組んだ成果を発表できるようになる。 1年間の学びを振り返ることで知識の再確認ができ、次年度の学習における目標設定が出来る。</p>				
授業計画(テーマ・内容)					
1	進級研究とは① 進級研究の意義や目的・ゴールを学ぶ	16			
2	進級研究とは② 過去の先輩たちの事例紹介	17			
3	進級研究の進め方 発表までの流れやスケジュールリングの確認	18			
4	テーマ決め① 今まで学んだ事を総括して深掘したテーマをディスカッションで探す	19			
5	テーマ決め② 過去に発表されたり、研究された事例をPCで検索する	20			
6	実践学習① 自分のテーマに沿って仮説と実証実験スタート	21			
7	実践学習② 途中経過の報告とアドバイス	22			
8	実践学習③ 前回のアドバイスを受けて改良したものの発表・報告	23			
9	実践学習④ 前回のアドバイスを受けて改良したものの発表	24			
10	まとめ 進級研究の発表に向けてまとめ作業	25			
11	発表準備 PCのパワーポイント作成	26			
12	発表事前準備 発表リハーサル・最終チェック	27			
13	進級制作展	28			
14	進級制作展ふりかえり	29			
15	進級制作展についてまとめ	30			
授業時間外学修 (事前・事後学習等)					
教科書・テキスト	なし				
参考書	専門基礎科目テキスト4冊/株式会社 滋慶出版				
評価方法・基準	研究課題の発表				
成績評価	評価点数80点以上をA、79点~70点をB、69点~60点をCとし、59点以下をD評価とする。ただしA、BおよびCを合格とし、Dを不合格とする。				

授業科目名	動物看護	開講学科	ペットスペシャリスト科		
開講科目名	動物看護演習Ⅱ	開講年度	2020	配当年次	2
開講科目英名	Practice of Animal Nursing Ⅱ	開講期間	通年	必選区分	必修
		授業形態	講義・演習	時間数(単位数)	120(8)
講師名					
実務経験概要	小動物臨床経験35年				
授業の概要・目的	<p>動物看護師としての業務は多岐にわたり、病院での診察が行われるために様々な事を担当します。この科目では、1年次に行った事の復習も兼ねながら、学んだ知識や技術を、よりスムーズに行えるように習得する事を目指します。動物病院以外のスタッフの場合でも、獣医療に関する知識や技術は、動物を扱う上で必ず役立つと思います。動物看護師としての必要な基本的な知識、技術、検査手技の学習が目的です。</p>				
到達目標	<p>動物病院に勤務する上で、最低限身に付けておいてほしい獣医療知識の習得と、病院の日常業務や検査手技をスムーズに行えるようにする事が目標です。</p>				
授業計画(テーマ・内容)					
1	オリエンテーション、将来の希望、避妊・去勢のビデオ説明、解剖の復習講義を行う。	16	各種注射法、輸液の説明、血管留置の準備、輸液ライン作成、自動点滴装置の取扱い、静脈留置法の実習を行う。		
2	全身検査とバイタルサインの授業、保定方法、体重測定、TPR、触診・視診・聴診を行う。	17	薬の基礎知識(薬理総論)、薬の取り扱い方、薬包紙の使い方、分包器の使用法、はかりの使用法などを理解する。		
3	心臓疾患、聴診器の使い方、心臓と呼吸器の聴診法、心音テープによる学習、身体検査の復習 超音波による心臓の確認を行う。	18	レントゲン検査の解説、レントゲン検査時の保定方法を行う。		
4	耳の疾患、耳垢検査、検査に必要な染色の種類と方法、顕微鏡の扱い方について理解する。	19	エコー検査の解説、エコー画像の解説、エコー検査時の保定方法、エコー検査のデモ(腹部、心臓、眼、関節)を理解する。		
5	眼の解剖、機能の解説、眼科疾患(白内障まで)、眼科検査方法、眼科検査実習、点眼法、眼底検査(散瞳剤使用)を行う。	20	エコー症例解説、心電図検査の解説、心電図検査の保定を理解する。		
6	歯と歯周疾患、口腔疾患の解説、歯科ビデオ、ハンドスケーリング実習を行う。	21	神経系の評価法(DVD)、神経障害部位の特定、神経系の検査を行う。		
7	皮膚構造、皮膚病変、皮膚疾患の解説、皮膚検査法の解説、皮膚検査実習(毛検査、テープ法、ウッドライト、真菌培養)を行う。	22	創傷のマネージメント、各部位における包帯法、腹帯の仕方、ロバートジョーンズ包帯法の実習を行う。		
8	寄生虫と寄生虫疾患の解説、ズーノーシスの解説、糞便検査実習を行う。	23	生殖器系の解剖と生理、生殖器の疾患、繁殖生理について、避妊、去勢、子宮蓄膿ビデオ、犬の膣スミアの実習を行う。		
9	腎臓の解剖、機能、腎疾患の解説、尿検査法の解説、採尿法、尿カテーテル法、尿検査実習、超音波による確認を行う。	24	内分泌系疾患の解説 (甲状腺機能低下症、亢進症、副腎皮質機能低下症、亢進症、糖尿病疾患など)		
10	肝臓の解剖、機能、肝臓疾患、超音波による肝臓、膵臓の確認、血液検査による肝機能検査を行う。	25	滅菌と消毒、ドレーピング法、手術準備法、清潔不潔の区別、糸の結び方を理解する。		
11	血液検査の解説、採血時の保定方法、血液検査(CBC、血液生化学検査)の解説と実習を行う。	26	術前準備、気管挿管、麻酔、覚醒の説明、無菌操作、手術着、有窓布のたたみ方、手袋装着法、術後の看護を理解する。		
12	血液リンパ系の解説、採血、血液塗抹標本作成実習、塗抹標本の見方の説明を行う。	27	麻酔前のリスク分類、術前検査、麻酔薬の解説、吸入麻酔法、吸入麻酔器の解説、レスピレーターの使用法、人工呼吸法(バグging)、麻酔モニタリング法を行う。		
13	血液疾患(貧血性疾患)について理解し、前期のまとめも行う。	28	後期まとめ		
14	前期学習内容の総括を行う。	29	後期学習内容の総括を行う。		
15	前期学習内容の振り返りを行う。	30	前期、後期学習内容の振り返りを行う。		
授業時間外学修(事前・事後学習等)	毎回授業の最初に、前回行った授業内容に対する小テストを行うので、各授業の復習をしっかりと行ってもらおう。				
教科書・テキスト	なし				
参考書	ビジュアルで学ぶ動物看護学、動物ナースのための臨床テクニック、動物病院検査技術ガイド、コンパニオンアニマルの内科疾患学入門・看護技術学、伴侶動物の臨床病理学など				
評価方法・基準	評価の割合は、筆記試験50%、実技試験40%、各授業前の小テストの結果10%で、最高評価点数を100とする。				
成績評価	評価点数80点以上をA、79点～70点をB、69点～60点をCとし、59点以下をD評価とする。ただしA、BおよびCを合格とし、Dを不合格とする。				

授業科目名	アニマル・トレーニング	開講学科	ペットスペシャリスト科		
開講科目名	ドッグトレーニング演習Ⅲ	開講年度	2020	配当年次	3
開講科目英名	Practice of Dog Training Ⅲ	開講期間	通年	必選区分	必修
		授業形態	講義・演習	時間数(単位数)	120(8)
講師名					
実務経験概要	トレーニング教室20年開催 行政のしつけ方教室を担当 JAHA家庭犬しつけインストラクター認定トレーナー				
授業の概要・目的	<p>お預トレーニングを通じて飼い主様とのコミュニケーション向上や、技術の向上、安全管理に関する責任感や身につけ、実務に対しての達成感や楽しさを体験させる。預トレーニングの準備と実際。新しい担当犬に対してのトレーニングファイルと計画表を作成した通りに行う(HELM/4つのD/YESTRAIN) 飼い主さんとのコミュニケーションの取り方。トレーニングの技術の向上。トレーニング技術発表の計画と開催。</p>				
到達目標	<p>預トレーニングの準備と実際。新しい担当犬に対してのトレーニングファイルと計画表を作成した通りに行う(HELM/4つのD/YESTRAIN) 飼い主さんとのコミュニケーションの取り方。トレーニングの技術の向上。トレーニング技術発表の計画と開催。</p>				
授業計画(テーマ・内容)					
1	オリエンテーション(お迎えの手順・準備物・コミュニケーション技術)	16	お預かり開始 トレーニングの計画を立てる(HELM) 準備確認		
2	お迎えの手順・準備物・コミュニケーション技術	17	お預トレーニング(HELM・4つのDの計画)		
3	お預かり開始 トレーニングの計画を立てる(HELM)	18	お預トレーニング(HELM・4つのDの計画)		
4	トレーニングの計画を立てる(HELM)	19	お預トレーニング(HELM・4つのDの計画・YESTRAIN)		
5	トレーニングの計画を立てる(4つのD)	20	お預トレーニング(HELM・4つのDの計画・YESTRAIN・トリック)		
6	トレーニングの実際(ハウストレーニング・アイコンタクト・ハンドターゲット)	21	お預トレーニング(HELM・4つのDの計画・YESTRAIN・トリック・発表内容の検討)		
7	トレーニングの実際(お手入れの練習 ブラッシング)	22	お預トレーニング(HELM・4つのDの計画・YESTRAIN・トリック・発表の練習)		
8	トレーニングの実際(おいで)	23	発表の部分リハーサル/発表内容に合わせた犬のトレーニング		
9	トレーニングの実際(おすわり・ふせ)	24	発表の部分リハーサル/発表内容に合わせた犬のトレーニング		
10	トレーニングの実際(おていれ・歯磨き・足ふき)	25	発表会		
11	トレーニングの実際(トリック・クリッカートレーニング)	26	マナーチャレンジの項目の練習		
12	ハンドリングテストの練習(ハウス・おいで・おすわり・ふせ・お手入れ・トリック)	27	マナーチャレンジの項目の練習		
13	ハンドリングテストの練習(ハウス・おいで・おすわり・ふせ・お手入れ・トリック)	28	マナーチャレンジの項目の練習		
14	ハンドリングテストの練習(ハウス・おいで・おすわり・ふせ・お手入れ・トリック)	29	マナーチャレンジの項目の練習		
15	ハンドリングテスト	30	ハンドリングテスト(マナーチャレンジ)		
授業時間外学修(事前・事後学習等)					
教科書・テキスト	家庭犬のしつけ教室				
参考書	家庭犬のしつけ教室				
評価方法・基準	出席率10% 授業ノート10% 授業の取り組み方10% ハンドリングテスト70%				
成績評価	評価点数80点以上をA、79点～70点をB、69点～60点をCとし、59点以下をD評価とする。ただしA、BおよびCを合格とし、Dを不合格とする。				

授業科目名	アニマル・トレーニング	開講学科	ペットスペシャリスト科		
開講科目名	トレーニング理論Ⅱ	開講年度	2020	配当年次	3
開講科目英名	Theory of Training Ⅱ	開講期間	通年	必選区分	必修
		授業形態	講義	時間数(単位数)	60(4)
講師名					
実務経験概要	トレーニング教室20年開催 行政のしつけ方教室を担当 JAHA家庭犬しつけインストラクター認定トレーナー				
授業の概要・目的	<p>犬の飼い方やトレーニング方法を理解し、計画を立てることによって、将来プロとして計画したり、アドバイスできるようにする。HELMを使って犬の飼養管理の計画表を作る。4つのDを使って犬のトレーニングの計画表を作成する(おすわり・ふせ・おいで・ヒールで歩く)。家庭犬のトレーニングテストの目的の理解とそのトレーニングの計画を立てる。家庭犬向けのしつけ教室で行うゲームの作成と発表の企画をする。行動の連鎖とその応用について。犬が言うことを聞かない時の対処法と計画を立てる。</p>				
到達目標	<p>HELMを使って犬の飼養管理の計画表を作る。4つのDを使って犬のトレーニングの計画表を作成する。家庭犬のトレーニングテストの目的の理解とそのトレーニングの計画を立てる。家庭犬向けのしつけ教室で行うゲームの作成と発表の企画をする。行動の連鎖とその応用について。犬が言うことを聞かない時の対処法と計画を立てる。</p>				
授業計画(テーマ・内容)					
1	担当犬の1次性強化子表とHELMの表を作成する	16	家庭犬のしつけ教室で行うゲームの目的と作り方		
2	担当犬のトレーニングの計画を作る(4つのD) 作り方 距離	17	4つのDを使ったトレーニングの計画の立て方 刺激への応用		
3	担当犬のトレーニングの計画を作る(4つのD) 作り方 時間	18	4つのDを使ったトレーニングの計画の立て方 4つのDまとめ		
4	担当犬のトレーニングの計画を作る(4つのD) 作り方 報酬の配分	19	ゲームの計画の実際		
5	校外散歩の計画を立てる	20	ゲームの計画の実際		
6	担当犬のトレーニングの計画を作る(4つのD) 作り方 まとめ	21	行動の細分化・行動の連鎖・トレーニングのABC 応用		
7	行動の細分化 基礎	22	4つのDの計画の練り直し・検討会		
8	バックチェイニング	23	ゲーム発表の担当決め・準備(道具・物品)		
9	トレーニングのABC	24	ゲーム発表の準備		
10	行動の連鎖	25	ゲーム発表のリハーサル		
11	トレーニングのABC	26	ゲーム発表のリハーサル		
12	犬が指示に従わない時 理解できていない場合	27	ゲームの発表と結果報告・反省会		
13	前期まとめ	28	後期まとめ		
14	筆記テスト	29	筆記テスト		
15	答え合わせと 質疑応答	30	答え合わせと 質疑応答		
授業時間外学修 (事前・事後学習等)					
教科書・テキスト	家庭犬のしつけ教室				
参考書	家庭犬のしつけ教室				
評価方法・基準	出席率10% 授業ノート10% 提出物(レポート課題)10% 筆記テスト70%				
成績評価	評価点数80点以上をA、79点～70点をB、69点～60点をCとし、59点以下をD評価とする。ただしA、BおよびCを合格とし、Dを不合格とする。				

授業科目名	アニマルビジネス	開講学科	ペットスペシャリスト科		
開講科目名	独立開業ゼミ	開講年度	2020	配当年次	3
開講科目英名	Seminar for Opening Own Business	開講期間	通年	必選区分	必修
		授業形態	講義・演習	時間数(単位数)	60(4)
講師名					
実務経験概要	外資ペットフードメーカーに於ける輸入計画・販売計画の立案。企画販売およびセミナー開催・講演。 独立後ペット用品流通業界でのコンサルティング・販売促進を手掛けながら、自ら輸入ペットフードの販売や総合ペットショップを運営。				
授業の概要・目的	経営の基本、マーケティングの基本、マネジメントの基本、物流と商流の基本、ディスプレイの基本を学習。 メーカー訪問・・・メーカーマーケティング/商品開発のレクチャー 卸企業訪問・・・問屋マーケティング/物流業としての在庫から出荷までの流れのレクチャー。 模擬店出店・・・学生自らがテーマ(コンセプト)を決めて、商品選定/POP/ポスター作製、陳列、接客販売を体験する。 独立開業の有無を問わず、業界人としてのスキルを身に着けることによって、社会人としての活躍の基礎となす。				
到達目標	○可能な限りの即戦力性の育成 ○自立性の育成				
授業計画(テーマ・内容)					
1	ペット業界の現状を知ることにより理解を深める	16	経営の基本③ペットショップ、ペットサロン経営の基本的考え方		
2	物流、商流とは何か。物流の在り方と重要性/問題点	17	会社設立のためのプランニング		
3	日本の商習慣と業態別商流の問題点	18	マネジメントの基本①組織マネジメントとは		
4	メーカーマーケティング(メーカー訪問)	19	マネジメントの基本②自己管理、部下の管理、目標設定と計画立案、アクションとレビュー		
5	卸業マーケティング(卸企業訪問)	20	マーケティングの応用④自己のペット業界における位置付けから考えるマーケティング。美容、物販、訓練、カフェ、生体販売それぞれの角度から考える力を養う。		
6	マーケティングの基本①価格ストラクチャーと粗利計算、商品知識	21	マーケティングの応用①自己のペット業界における位置付けから考えるマーケティング。美容、物販、訓練、カフェ、生体販売それぞれの角度から考える力を養う。		
7	マーケティングの基本②ペットショップマーケティング	22	マーケティングの応用②ペット専門店のマーケティング。今後の国内専門店が目指すべき方向を考え、どのようなマーケティングを行えば良いかを導き出す。		
8	マーケティングの基本③ビジネスプラン/戦術(tactic)と戦略(strategy)	23	業界展示会見学(日本ウエイン株式会社を予定)		
9	ディスプレイの基本①ディスプレイとは何か。そのセオリーと役割	24	ドッグイベントでの模擬店出店準備①コンセプトと内容のプランニング		
10	ディスプレイの基本②ディスプレイの応用(校外でのショップ見学)	25	ドッグイベントでの模擬店出店準備②商品設定(ペット商事)		
11	ディスプレイの基本③ペットショップディスプレイ(ペットコロニーくずは店)	26	ドッグイベントでの模擬店出店準備③POP・ポスター作製		
12	経営の基本①経営とは何か。会社とは何か。株主・役員・社員の役割	27	ドッグイベントでの模擬店出店④接客販売体験		
13	経営の基本②マーケットに於けるペット業界の位置付けとその特殊性	28	WeareECO模擬店 コンセプトと内容の決定 商品選定(ペットコロニーくずは店)		
14	前期授業のまとめ	29	WeareECO模擬店 POP、ポスター作製		
15	振り返り	30	年間の総括		
授業時間外学修(事前・事後学習等)					
教科書・テキスト	なし				
参考書	なし				
評価方法・基準	前期/筆記試験 後期/実技評価				
成績評価	評価点数80点以上をA、79点~70点をB、69点~60点をCとし、59点以下をD評価とする。ただしA、BおよびCを合格とし、Dを不合格とする。				

授業科目名	イベント研究	開講学科	ペットスペシャリスト科		
開講科目名	オープンキャンパス	開講年度	2020	配当年次	3
開講科目英名	Open Campus	開講期間	前期	必選区分	必修
		授業形態	演習	時間数(単位数)	30(2)
講師名					
実務経験概要					
授業の概要・目的	<p>企画実行や予算管理をし、役割分担を決め、人と協力して作業することの大切さを学ぶ また、準備段階からイベント終了までの期間を通し、協調性・コミュニケーション力・接遇を学ぶ</p>				
到達目標	<p>イベントを成功させ、予算管理も含め満足度や達成感を味わう</p>				
授業計画(テーマ・内容)					
1	オープンキャンパスとは? オープンキャンパスの目的意義を学ぶ	16			
2	企画会議① グループワークでそれぞれ企画を立案し、企画書を作成する	17			
3	企画会議② 各グループでプレゼンし、テーマを決める	18			
4	運営会議① 役割分担・スケジュールを決め、運営委員中心に実行する	19			
5	運営会議② 事前の準備や予算管理方法を学ぶ	20			
6	実施準備 制作物の作成①	21			
7	実施準備 制作物の作成②	22			
8	実施準備 接遇のトレーニング	23			
9	実施準備 装飾デザインを学ぶ	24			
10	実施前日準備 救急代作・避難経路の確認など安全対策を学ぶ	25			
11	イベント日① 1日目 実施と反省	26			
12	イベント日② 2日目 実施と反省	27			
13	後片付け アンケート集計	28			
14	振り返り アンケート結果によりイベントの振り返りと反省会	29			
15	総括 次年度の送り書作成	30			
授業時間外学修 (事前・事後学習等)					
教科書・テキスト	なし				
参考書	なし				
評価方法・基準	レポート課題				
成績評価	評価点数80点以上をA、79点～70点をB、69点～60点をCとし、59点以下をD評価とする。ただしA、BおよびCを合格とし、Dを不合格とする。				

授業科目名	イベント研究	開講学科	ペットスペシャリスト科		
開講科目名	スポーツフェスタ	開講年度	2020	配当年次	3
開講科目英名	Sports Festa	開講期間	後期	必選区分	必修
		授業形態	演習	時間数(単位数)	30(2)
講師名					
実務経験概要					
授業の概要・目的	<p>競技種目の選定、ルール作り、各種備品等を学生が主体となり実行委員会を設けて企画実行することで人との関わりを学び、協調性・団結力を養う 当日までのカラダ作り期間を実施することで体力強化ができる</p>				
到達目標	<p>個人ではなくクラスというチームでの達成感を味わう チームで一つの目標に対して努力することで人間関係の関わり方を学ぶ</p>				
授業計画(テーマ・内容)					
1	スポーツフェスタとは? 意義や目的を学ぶ	16			
2	企画会議① 過去どんな競技をしてどんな準備が必要でどんな効果があったかを学ぶ	17			
3	企画会議② 各グループにわかれ、スポーツフェスタの企画書を作成し、プレゼンをする	18			
4	企画会議③ 競技種目や内容を決定し役割分担、スケジュールを作成する	19			
5	企画会議④ 競技のルール確認、安全な運営をするために具体的に作業していく	20			
6	実施準備① クラスで着る衣装・応援旗などの作成	21			
7	実施準備② 競技で使用する掲示板・道具などを作成する	22			
8	実施準備③ 当日のパンフレット作成	23			
9	安全運営対策① 怪我・事故防止のため、校内でのストレッチ・体力増強運動を実行	24			
10	安全運営対策② AED、救急救命法をインストラクターから学ぶ	25			
11	安全運営対策③ 事前に救急病院など調べて緊急対応にそなえる	26			
12	安全運営対策④ 人と動物との体のしくみ等を比較して学び、動物学校の特色を出して学ぶ	27			
13	前日準備 運営がスムーズに進むよう準備をする	28			
14	実施日 スポーツフェスタの運営をする	29			
15	総括 反省会をして次回につながるように記録を残す	30			
授業時間外学修 (事前・事後学習等)					
教科書・テキスト	なし				
参考書	なし				
評価方法・基準	レポート課題				
成績評価	評価点数80点以上をA、79点～70点をB、69点～60点をCとし、59点以下をD評価とする。ただしA、BおよびCを合格とし、Dを不合格とする。				

授業科目名	トリミング	開講学科	ペットスペシャリスト科		
開講科目名	トリミング演習ⅡA	開講年度	2020	配当年次	3
開講科目英名	Practice of Grooming ⅡA	開講期間	通年	必選区分	必修
		授業形態	講義・演習	時間数(単位数)	180(12)
講師名					
実務経験概要	トリミングサロンにてプロトリマーとして勤務				
授業の概要・目的	<p>犬の体形、毛質、毛量、要望を考え、スピーディーにバランスよく美しく仕上げる。犬の性質、気質、気持ちを察してあげながらコントロールし、ストレスをためないようにしてあげる。</p>				
到達目標	<p>即戦力となるグルーミング、トリミングを身に付け、同時に犬に対する配慮と、その先にいる飼い主様に満足してもらえるトリマーを目指す。</p>				
授業計画(テーマ・内容)					
1	ベーシックを再確認し、苦手な作業の克服とスピードアップ	16	スピード、バランス、チップングを考慮し、その犬に合った仕上がりを目指す		
2	マルチーズ、シーズー、ヨークーのモデルグルーミング 2DMと合同でします	17	スピード、バランス、チップングを考慮し、その犬に合った仕上がりを目指す		
3	犬のコントロールをマスターし、理想の仕上がりをイメージしながら、トリミングする	18	スピード、バランス、チップングを考慮し、その犬に合った仕上がりを目指す		
4	犬のコントロールをマスターし、理想の仕上がりをイメージしながら、トリミングする	19	苦手犬種の克服と、グルーミング、トリミングの確実性をアップする		
5	犬のコントロールをマスターし、理想の仕上がりをイメージしながら、トリミングする	20	苦手犬種の克服と、グルーミング、トリミングの確実性をアップする		
6	犬のコントロールをマスターし、理想の仕上がりをイメージしながら、トリミングする	21	苦手犬種の克服と、グルーミング、トリミングの確実性をアップする		
7	犬のコントロールをマスターし、理想の仕上がりをイメージしながら、トリミングする	22	苦手犬種の克服と、グルーミング、トリミングの確実性をアップする		
8	犬の体形、毛質、毛量などを考え、バランスよく仕上げる	23	苦手犬種の克服と、グルーミング、トリミングの確実性をアップする		
9	犬の体形、毛質、毛量などを考え、バランスよく仕上げる	24	仕上げの形とバランス、仕上がりの美しさのレベルアップと時間短縮を目指す		
10	犬の体形、毛質、毛量などを考え、バランスよく仕上げる	25	仕上げの形とバランス、仕上がりの美しさのレベルアップと時間短縮を目指す		
11	犬の体形、毛質、毛量などを考え、バランスよく仕上げる	26	仕上げの形とバランス、仕上がりの美しさのレベルアップと時間短縮を目指す		
12	犬の体形、毛質、毛量などを考え、バランスよく仕上げる	27	総括・授業内評価・出欠・提出物・授業態度		
13	総括・授業内評価・出欠・提出物・授業態度	28	仕上げの形とバランス、仕上がりの美しさのレベルアップと時間短縮を目指す		
14	スピード、バランス、チップングを考慮し、その犬に合った仕上がりを目指す	29	ベーシック犬 グループで複数頭のグルーミングをする		
15	スピード、バランス、チップングを考慮し、その犬に合った仕上がりを目指す	30	学生の飼い犬にカラーリングをします		
授業時間外学修 (事前・事後学習等)					
教科書・テキスト					
参考書					
評価方法・基準	授業内評価・トリミングレベル・コントロール・スピード・出欠・提出物・授業態度				
成績評価	評価点数80点以上をA、79点～70点をB、69点～60点をCとし、59点以下をD評価とする。ただしA、BおよびCを合格とし、Dを不合格とする。				

授業科目名	トリミング	開講学科	ペットスペシャリスト科		
開講科目名	トリミング理論Ⅱ	開講年度	2020	配当年次	3
開講科目英名	Theory of Grooming Ⅱ	開講期間	通年	必選区分	必修
		授業形態	講義・演習	時間数(単位数)	30(2)
講師名					
実務経験概要	トリミングサロンにてプロトリマーとして勤務				
授業の概要・目的	<p>特殊な犬種のスタンダードとトリミング理論を学ぶ。また、グルーミングドールを使って普段できないカットを学んだり、プードルの党首なカットや、好きな犬種も本を制作することによって、トリミングや、色々な犬種をより深く学んでもらいます。また、動物看護、ドッグトレーナー、ペットサロンなど、様々なジャンルで必要となるトリミング技術、知識を実践できるように学びます。</p>				
到達目標	<p>トリミング理論をよく知識の幅を広げる事で実践に通用する技術を身に付ける。また、様々な職場で即戦力として役立てることが出来るようになってもらいます。</p>				
授業計画(テーマ・内容)					
1	ハンドリング・ドッグショーでの犬の扱いや、トリミングでの犬のコントロールなどを学びます。	16	グルーミングテキスト・教本を使っての勉強		
2	ビジョンフリーゼのスタンダードとトリミング理論	17	グルーミングドールクレイン・ケネルからクレインにします		
3	ペドリントンテリアのスタンダードとトリミング理論	18	グルーミングドールマンハッタン・クレインからマンハッタンにします		
4	テリア・様々なテリアのスタンダードとトリミング理論	19	グルーミングドールボレロマンハッタン・マンハッタンからボレロマンハッタンにします		
5	テリア・様々なテリアのスタンダードとトリミング理論	20	グルーミングドール・ボレロマンハッタンを完全に仕上げます		
6	テリア・様々なテリアのスタンダードとトリミング理論	21	A級検定		
7	基礎的獣医学・トリマーとして必要な犬の健康管理や対処法	22	A級検定		
8	プードルのショークリップの理論	23	JKC公認犬種・JKCで公認されている犬種のスタンダード		
9	全身ラップ・ロングな被毛の犬のラップ法	24	JKC公認犬種・JKCで公認されている犬種のスタンダード		
10	JKC10グループのグルーピング	25	クリスマスカードを作り・学校でお世話になっているワンちゃんにクリスマスカードを送ります		
11	猫の種類とスタンダード	26	クリスマスカードを作り・学校でお世話になっているワンちゃんにクリスマスカードを送ります		
12	猫の種類とスタンダード	27	総括・犬種別研究・好きな犬種の本を作ってもらい、プレゼンテーションをします		
13	総括	28	ダックスフンド、モデルグルーミング		
14	振り返り	29	エクステンション・グルーミングドールにカラーリングとエクステンションを付けます		
15	グルーミングテキスト・教本を使っての勉強	30	エクステンション・グルーミングドールにカラーリングとエクステンションを付けます		
授業時間外学修(事前・事後学習等)					
教科書・テキスト	グルーミングテキスト				
参考書	JKC最新犬種標準書				
評価方法・基準	前期は筆記試験 後期はグルーミングドールと犬種別研究で採点します・出欠・提出物・授業態度で評価します				
成績評価	評価点数80点以上をA、79点～70点をB、69点～60点をCとし、59点以下をD評価とする。ただしA、BおよびCを合格とし、Dを不合格とする。				

授業科目名	プレゼンテーション	開講学科	ペットスペシャリスト科		
開講科目名	エコ教養Ⅲ	開講年度	2020	配当年次	3
開講科目英名	Human studyⅢ	開講期間	通年	必選区分	必修
		授業形態	講義・演習	時間数(単位数)	60(4)
講師名					
実務経験概要	該当なし				
授業の概要・目的	<p>本授業では、時間割の構成、成績、単位認定などについて理解するとともに、目指す業界に就職するために社会人基礎力を養うことを目的とする。また、就職セミナー、業界の識者による講演、業界の視察、各種イベントの計画・準備等を通じて、ペット業界へ就職を目指すものとして必要な教養やビジネススキルを身につける。さらに、さらに1年間の学修の成果をまとめる。</p>				
到達目標	<p>学校の諸ルールについて理解する。業界のジャンルや動向について説明できるようになる。就職活動における基本的な心構え、最低限のビジネスマナーを習得する。卒業進級制作展における進級発表物を製作し、1年間かけて学んできたことの要点を説明できるようになる。</p>				
授業計画(テーマ・内容)					
1	大阪ECOで学ぶにあたって:成績評価、単位認定、公認欠席、休講、年間スケジュールについて学生便覧などを用いて説明する。	16	合同企業説明会について		
2	時間割の解説:開講科目の位置づけ、各科目の開講意義などについて解説する。Wメジャーカリキュラムの説明。	17	履歴書の作成		
3	猫種について学ぶ①	18	面接の受け方		
4	猫種について学ぶ②	19	ビジネスマナー(敬語・挨拶・名刺交換など)		
5	学園祭の企画・運営:学園祭での実施内容・役割分担などについて打ち合わせをする。	20	スポーツフェスタの企画・運営:スポーツフェスタにおける役割分担・競技種目などについて打ち合わせを行う。		
6	業界の識者による講演	21	ビジネスマナー(身だしなみ・訪問のマナーなど)		
7	業界の識者による講演	22	ビジネスマナー(メール・手紙など)		
8	業界の識者による講演	23	卒業進級制作展の準備:役割分担の調節・発表内容の打ち合わせ		
9	業種・職種等について	24	卒業進級制作展の準備:発表物の製作		
10	猫種について学ぶ③	25	卒業進級制作展の準備:発表物の製作		
11	猫種について学ぶ④	26	卒業進級制作展の準備:発表物の製作		
12	猫種について学ぶ⑤	27	卒業進級制作展の準備:発表物の製作		
13	猫種について学ぶ⑥	28	卒業進級制作展の運営		
14	前期授業の振り返り	29	後期授業の振り返り		
15	前期の総括	30	後期の総括		
授業時間外学修(事前・事後学習等)	授業中に適宜課題を与える。授業中に書き留めたメモをもとにノートを作成する。				
教科書・テキスト	授業中に適宜紹介する。				
参考書	該当なし。				
評価方法・基準	提出物50%、出席率50%				
成績評価	評価点数80点以上をA、79点～70点をB、69点～60点をCとし、59点以下をD評価とする。ただしA、BおよびCを合格とし、Dを不合格とする。				

授業科目名	業界研修	開講学科	ペットスペシャリスト科		
開講科目名	キャリア・セミナーⅡ	開講年度	2020	配当年次	3
開講科目英名	Seminar for Job Hunting Ⅱ	開講期間	前期	必選区分	必修
		授業形態	講義・演習	時間数(単位数)	30(2)
講師名					
実務経験概要	該当せず				
授業の概要・目的	<p>最終学年の進級時から、自立して就活(行動)ができるように様々な情報提供を行う。またインターンシップを経験し「業界の評価」を次の課題としてとらえ、就活中盤～終盤へ向け「就職内定」までの過程と、内定後、また卒業後のサポートなどの情報を提供し、理解を深める。</p>				
到達目標	<p>就職希望者全員の就職内定(進路決定)を、卒業前の12月末までに達成する。遅くとも卒業年の2月末まで。</p>				
授業計画(テーマ・内容)					
1	後期の授業計画について:就活中盤を迎え、授業計画の確認と、最終目標の再確認。	16			
2	就活における面接試験:第一印象の大切さ、服装・身だしなみ・心得について。	17			
3	求人票について:Web就職システムとサクセスナビ。求人票の見方、社会保険などについて。	18			
4	合同企業説明会について:来校企業の求人情報、研究と企業へのアプローチ(質問事項についても)の方法。	19			
5	企業へのエントリー:インターンシップや就職応募エントリーについて。	20			
6	インターンシップについて(導入):全体の流れ(研修前・研修中・研修終了後)の理解。SNSによる過去の失敗事例の共有。	21			
7	インターンシップについて(実施内容):「新入社員」のように2週間体験する際の注意とアドバイス。	22			
8	インターンシップについて(まとめ):インターンシップの振り返り(クラス内での発表)。	23			
9	インターンシップについて(業界の評価):インターンシップの業界の評価に基づき、できていたところと今後必要なことの確認と理解。	24			
10	仕事をもう一度考える:インターンシップを終え、社会に貢献することの理解と重要性、やりがいの確認。	25			
11	キャリアプランの再構築:過去・現在・未来の自分を考え「なりたい自分像」を明確化する。	26			
12	社員とフリーター、フリーランスについて:社会保障・給与・待遇の違い・職務責任について。	27			
13	キャリアアップについて:卒業(就職後の)セミナーや学会、社内研修などを通じての成長。「愛玩動物看護師」としての可能性。	28			
14	社会人基礎力について:最新年度版の配布と内容確認・卒業後の支援制度の紹介。	29			
15	まとめ:1週から15週までの総まとめと、今後の各人の学生生活について。	30			
授業時間外学修(事前・事後学習等)	授業中に適宜課題を与える。またSUCCESS FILEにプリントやレポートをファイルし適宜見返すこと。				
教科書・テキスト	SUCCESS NOTE(大阪ECOオリジナル)、プリントなど				
参考書	とくになし				
評価方法・基準	選択、記述を合わせた筆記試験を行い、75点満点とする。また授業への出席率を25点満点(=100%)とし、合計を評価点数とする。				
成績評価	評価点数80点以上をA、79点～70点をB、69点～60点をCとし、59点以下をD評価とする。ただしA、BおよびCを合格とし、Dを不合格とする。				

授業科目名	業界研修	開講学科	ペットスペシャリスト科		
開講科目名	業界研修	開講年度	2020	配当年次	3
開講科目英名	Business internship	開講期間	通年	必選区分	必修
		授業形態	講義・演習	時間数(単位数)	60(4)
講師名					
実務経験概要	該当せず				
授業の概要・目的	卒業年度に学生が目指す業界の企業またはそれに準ずる組織・施設・個人等(以下企業という)で研修(インターンシップ)を行う。このカリキュラムは業界のプロフェッショナルになるという大きな目標の前に、社会人とは何かを実際の現場で学ぶことを目的としている。				
到達目標	①学生の業界へのイメージと現実とのギャップを軽減させる。 ②実際の業界現場での研修を通じ、仕事の流れや職場でのコミュニケーションを学ぶ。 ③社会の成り立ち、社会人としてのマナーやルールを実体験で学ぶ。 ④自らの「キャリア」をデザインできる。				
授業計画(テーマ・内容)					
1	講義: インターンシップとは、参加の意義を知る	16	講義: インターンシップ参加における目的・目標の設定		
2	インターンシップ参加	17	インターンシップ参加		
3	インターンシップ参加	18	インターンシップ参加		
4	インターンシップ参加	19	インターンシップ参加		
5	インターンシップ参加	20	インターンシップ参加		
6	インターンシップ参加	21	インターンシップ参加		
7	インターンシップ参加	22	インターンシップ参加		
8	インターンシップ参加	23	インターンシップ参加		
9	インターンシップ参加	24	インターンシップ参加		
10	インターンシップ参加	25	インターンシップ参加		
11	インターンシップ参加	26	インターンシップ参加		
12	インターンシップ参加	27	インターンシップ参加		
13	インターンシップ参加	28	インターンシップ参加		
14	報告会	29	報告会		
15	報告会	30	報告会		
授業時間外学修(事前・事後学習等)	企業研究、業界研修(インターンシップ)希望先の選定活動やレポート作成など				
教科書・テキスト	業界研修日報、業界研修ノートなど配布資料による。				
参考書	キャリアセンターの参考情報				
評価方法・基準	研修先業務の完全遂行、講義参加、報告会での発表、レポート提出が単位取得の条件となる。 【成績評価】レポート内容、報告会、インターンシップ先企業の評価を総合して評価する。				
成績評価	評価点数80点以上をA、79点～70点をB、69点～60点をCとし、59点以下をD評価とする。ただしA、BおよびCを合格とし、Dを不合格とする。				

授業科目名	公衆衛生・関係法規	開講学科	ペットスペシャリスト科		
開講科目名	獣医関連法規	開講年度	2020	配当年次	3
開講科目英名	Veterinary Laws and Regulations	開講期間	前期	必選区分	必修
		授業形態	講義	時間数(単位数)	60(4)
講師名					
実務経験概要	行政書士、認定動物看護師				
授業の概要・目的	<p>家庭動物を中心として、飼い主を含む人と動物が関わる法律について解説する。□</p> <p>□</p> <p>□</p> <p>□</p> <p>□</p>				
到達目標	<p>・狂犬病予防法や動物愛護法などの概要について理解できるようになる。</p> <p>・社会における上記の法律などがどのように関わっているのか複眼的に実感できるようになる。□</p>				
授業計画(テーマ・内容)					
1	自己紹介、授業概要説明、法律の仕組み	16			
2	狂犬病予防法(1) 狂犬病の概要、狂犬病清浄国について	17			
3	狂犬病予防法(2) 狂犬病予防法の概要その1 施行年、目的など	18			
4	狂犬病予防法(3) 狂犬病予防法の概要その2 対象動物、輸入禁止動物など	19			
5	狂犬病予防法(4) 狂犬病予防法の概要その4 飼い主と行政の義務、罰則など	20			
6	動物が亡くなった場合のルール(1)人と動物の埋葬ルールの違い□	21			
7	動物が亡くなった場合のルール(2)化製場法について□	22			
8	動物愛護法(1)動物愛護法制定・改正までの経緯	23			
9	動物愛護法(2)目的・基本原則など	24			
10	動物愛護法(3)動物虐待に対する罰則	25			
11	動物愛護法(4)動物取扱業の概要 その1 □	26			
12	動物愛護法(5)動物取扱業の概要 その2□	27			
13	獣医師法 など□	28			
14	前期試験	29			
15	前期試験 返却・解説	30			
授業時間外学修(事前・事後学習等)	授業中に書き留めたメモなどからの一を作成する				
教科書・テキスト	特になし				
参考書	特に無し				
評価方法・基準	評価の割合は、レポート試験80%、出席率を20%で最高評価点を100とする				
成績評価	評価点数80点以上をA、79点～70点をB、69点～60点をCとし、59点以下をD評価とする。ただしA、BおよびCを合格とし、Dを不合格とする。				

授業科目名	卒業研究	開講学科	ペットスペシャリスト科		
開講科目名	卒業研究	開講年度	2020	配当年次	3
開講科目英名	Graduation Study	開講期間	後期	必選区分	必修
		授業形態	講義・演習	時間数(単位数)	60(4)
講師名					
実務経験概要					
授業の概要・目的	<p>2年間で身に付けた技術や知識の集大成として卒業研究に取り組み発表する 今まで学んだ技術・知識を発表し、論文としてまとめる 自分の考えを人に伝えるコミュニケーション力をつける</p>				
到達目標	<p>卒業研究発表にて自身の取り組んだ成果を発表できるようになる。 2年間の学びを振り返り論文としてまとめることができる。</p>				
授業計画(テーマ・内容)					
1	卒業研究とは① 進級研究の意義や目的・ゴールを学ぶ	16			
2	卒業研究とは② 過去の先輩たちの事例紹介	17			
3	卒業研究の進め方 発表までの流れやスケジュールの確認	18			
4	テーマ決め① 今まで学んだ事を総括して深掘したテーマをディスカッションで探す	19			
5	テーマ決め② 過去に発表されたり、研究された事例をPCで検索する	20			
6	実践学習① 自分のテーマに沿って仮説と実証実験スタート	21			
7	実践学習② 途中経過の報告とアドバイス	22			
8	実践学習③ 前回のアドバイスをを受けて改良したものの発表・報告	23			
9	実践学習④ 前回のアドバイスをを受けて改良したものの発表	24			
10	まとめ 卒業研究の発表に向けてまとめ作業	25			
11	発表準備 PCのパワーポイント作成	26			
12	発表事前準備 発表リハーサル・最終チェック	27			
13	卒業研究発表	28			
14	卒業研究発表ふりかえり	29			
15	卒業研究発表についてまとめ	30			
授業時間外学修 (事前・事後学習等)					
教科書・テキスト	なし				
参考書	専門基礎科目テキスト4冊／株式会社 滋慶出版				
評価方法・基準	卒業研究課題の発表・論文				
成績評価	評価点数80点以上をA、79点～70点をB、69点～60点をCとし、59点以下をD評価とする。ただしA、BおよびCを合格とし、Dを不合格とする。				

授業科目名	動物看護	開講学科	ペットスペシャリスト科		
開講科目名	動物看護演習Ⅲ	開講年度	2020	配当年次	3
開講科目英名	Practice of Animal Nursing Ⅲ	開講期間	通年	必選区分	必修
		授業形態	講義・演習	時間数(単位数)	60(4)
講師名					
実務経験概要	大阪市阿倍野区にて25年以上開業獣医師として動物病院を経営				
授業の概要・目的	<p>・犬や猫の日常的な健康管理や内科医療に必要な手技など、動物内科看護学で学んだ知識の実践力を修得する。</p> <p>・手術準備や術中・術後管理、麻酔準備や麻酔監視、手術の補助、救急救命など、動物外科看護学で学んだ知識の実践力を修得する。</p> <p>・動物臨床検査および生態検査に必要な手技や機器の扱い方など、動物臨床検査学で学んだ知識の実践力を修得する。</p>				
到達目標	<p>・動物の基本的な取り扱い、具体検査、診療補助、輸液・輸血に関わる技術について知る。</p> <p>・術前準備、術中補助、術後管理、救急救命について知る。</p> <p>・検体検査、生体検査について知る。</p>				
授業計画(テーマ・内容)					
1	ガイダンスと身体検査	16	麻酔モニターに関して		
2	ズーノーシス・環境衛生	17	細胞診と組織心・凝固系検査		
3	解剖学・生理学(座学)	18	超音波検査と内視鏡		
4	解剖学	19	滅菌・手術準備		
5	画像診断	20	手術器具に関して		
6	血球検査	21	避妊手術・去勢手術に関して		
7	血液生化学検査	22	歯科処置		
8	泌尿科	23	麻酔模擬実習		
9	消化器	24	猫への応用とまとめ		
10	眼科・耳鼻科	25	後期授業のまとめ		
11	皮膚科	26	振り返り		
12	神経科	27	診察実習		
13	循環器疾患	28	診察実習		
14	前期授業のまとめ	29	後期総括		
15	振り返り	30	総まとめ		
授業時間外学修(事前・事後学習等)	授業の予習と復習				
教科書・テキスト					
参考書					
評価方法・基準	評価の割合は筆記試験70%、出席率20%で最高評価得点を100%とする。				
成績評価	評価点数80点以上をA、79点～70点をB、69点～60点をCとし、59点以下をD評価とする。ただしA、BおよびCを合格とし、Dを不合格とする。				